

協働パイロット事業 (H20) 企画提案書

(様式2)

団体名：特定非営利活動法人

しずおか環境教育研究会

1. 事業の名称

守ろう!静岡の自然・集おう!里山のにぎわい祭り

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

当 NPO は、県中部地域を中心に、子どもたちを初めとした市民に自然体験や環境教育を提供し、静岡の美しい自然が保全と健全な人づくりがなされることを願い活動している。近年は幼児親子、小学生対象の事業への参加が倍増するなど、自然体験や環境教育のニーズが高まっている。活動が継続的に実施され、環境を守れる人づくりがなされていく為には、より多くの市民や企業の理解を得、静岡市市民活動促進基本計画にもあるように、地域が一丸となって課題に取り組むことが必要である。そこで、地域町内会や自治会、森づくり団体や大学の環境サークル等に静岡市を加えた実行委員会により「里山のにぎわいまつり」を実施し、子どもたちによる活動報告や環境教育の意義の発信、周辺に生息する生き物や風景のパネル展示、自然素材工作体験など楽しいイベントを行うことで、環境教育や里山の保全への普及啓発を図る。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

- 当 NPO は、里山にぎわいまつり実行委員会の事務局を担い、運営組織である各団体の実行委員との連絡調整や広報、事務処理、当日の運営、資材費の負担などを行う。
- 地域町内会や自治会、森づくり団体や大学の環境サークル等の参加団体は、実行委員会への参加、当日運営スタッフを担う。
- 静岡市には、活動への支持、実行委員会への参加、広報の協力と資金援助を望む。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

- ・参加者アンケートをとることで、イベントの趣旨への理解度や環境教育・里山保全活動への意識調査をし、イベントの成果を量るとともに、今後の普及活動への参考資料を作成する。
- ・事業実施報告書の提出
- ・里山にぎわいまつりへの参加者を昨年度実績約 290 名から、約 320 名に増やす。

団体名：特定非営利活動法人
しずおか環境教育研究会

5. 事業計画

【実行委員会の開催】8月～12月 月1回

参加メンバー：

- ・ 静岡市
- ・ 草薙の里「遊森民」
- ・ 森林療法研究会
- ・ 谷田自治会
- ・ 矢入農園
- ・ 有度山グリーンクラブ
- ・ NPO法人しずおか環境教育研究会
- ・ ホリデーの森
- ・ 平澤町内会
- ・ NPO庵原里山研究会
- ・ 里山を楽しむ会

【第6回里山のにぎわいまつり】の実施】

- ・ 子どもたちによる自然体験活動報告
- ・ 各団体の活動発表
- ・ 環境教育の意義の発信
- ・ 周辺に生息する生き物や風景のパネル展示
- ・ 自然素材の工作体験
- ・ 地域農家による農産物や加工品の販売
- ・ フリーマーケット
- ・ クイズラリー
- ・ 静岡市環境教育基本方針の紹介
- ・ 静岡市市民活動促進基本計画の紹介 等

6. スケジュール

- ・ 6月 実行委員会メンバー確定
- ・ 7月 イベント詳細計画案作成・連絡調整
- ・ 8月から11月 毎月一回 実行委員会の開催
- ・ 9月 チラシ作成・広報開始
- ・ 10月 自然素材工作、当NPO主催事業参加の子どもたちによる活動報告の準備、当日配布資料作成、周辺に生息する生き物や風景のパネル作成など
- ・ 11月、会場準備・周辺民家との調整
- ・ 11月14日 「里山のにぎわい祭り」実施 アンケート取り
- ・ 11月 アンケートのまとめと資料作り・報告書の作成

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

【実施体制】

実行委員会

(イベントの企画と実施)

→実行委員は各団体等から一人ずつ選出

実行委員会事務局

(運営組織である各団体の実行委員との連絡調整や広報、事務処理、当日の運営、実行委員会会場費やイベント実施に伴う資材費を負担する)

→NPO 法人しずおか環境教育研究会が担う

【NPO 法人しずおか環境教育研究会のスタッフ】

大町克之 2005 年に里山インストラクター講座受講 当 NPO 主催「工作楽家」「里山 de 遊び」に

スタッフとして参加、指導を担当する。現在当 NPO 安全衛生部会を担当。

大石順一 2004 年に環境学習指導員養成講座受講。当 NPO 理事。「里山 de 遊び隊」を担当。

伏見佐和 県環境道場市販養成講座 1 期生。「わんぱく里山」「里山ちびっこクラブ」を担当。

県食農学習コーディネーター、当 NPO スタッフ。

8. 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績など)

有度山丘陵「里山のにぎわい祭り」は、地域団体の交流事業として、当 NPO が発起人となり開催を始め今年既に 6 回目の実施となる。毎年、実行委員会形式での実施としているが、今年度はより主体的に地域団体に取り組んでもらえるよう、当 NPO のフアンリレーション技術を活かし、組織づくりをコーディネートしていく。そして今後は、地域団体が一丸となって環境教育の必要性や里山の保全への普及啓発を担っていきけるような雰囲気づくりを進める。

実行委員会、イベント当日参加団体、一般参加とも年々増えているが、静岡市の中心市街地から近い場所での開催なので、市民が参加しやすく、環境教育や里山の保全への効果的な普及啓発が期待できる。

協働パイロット事業 (H20) 見積書

団体名：特定非営利活動法人
しずおか環境教育研究会

企画のタイトル：守ろう!静岡の自然・集おう!里山のにぎわい祭り

項目	金額	説明
消耗品費	65,000	パネル作成費・ブルーシート・杭・針金等
通信費	10,000	チラシ発送費
広告宣伝費	40,000	チラシ作成印刷費・静鉄電車広告・案内板制作費等
賃借料	70,000	トイレ借用料(りんご園)、軽トラック料 レンタカー(バス)借り上げ代(美術館前駅-会場)
燃料費	10,000	レンタカー・軽トラックガソリン代
事務管理費	43,000	事務管理費
小計 A	238,000	
消費税 $B = A \times 0.05$	11,900	
合計 A+B	249,900	

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
物販販売収入	86,000	焼き芋・にぎわいカフェ・炊き込みご飯・トシ汁等の 売り上げ代

企画提案の概要書

(様式4)

提案団体名	特定非営利活動団体しずおか環境教育研究会
企画案のタイトル	守ろう!静岡の自然・集おう!里山のにぎわい祭り
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	<p>当 NPO は、県中部地域を中心に、子どもたちを初めとした市民に自然体験や環境教育を提供し、静岡の美しい自然が保全と健全な人づくりがなされることを願い活動している。近年は幼児親子、小学生対象の事業への参加が倍増するなど、自然体験や環境教育のニーズが高まっている。活動が継続的に実施され、環境を守れる人づくりがなされていく為には、多くの市民や企業の理解を得、静岡市市民活動促進基本計画にもあるように、地域が一丸となって課題に取り組むことが必要である。そこで、地域町内会や自治会、森づくり団体や大学の環境サークル等に静岡市を加えた実行委員会により「里山のにぎわいまつり」を実施し、子どもたちによる活動報告や環境教育の意義の発信、周辺に生息する生き物や風景のパネル展示、自然素材工作体験など楽しいイベントを行うことで、環境教育や里山の保全への普及啓発を図る。</p>
金額	249,900 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。